

Build Happy Internet Life

トップメッセージ | 高谷 康久

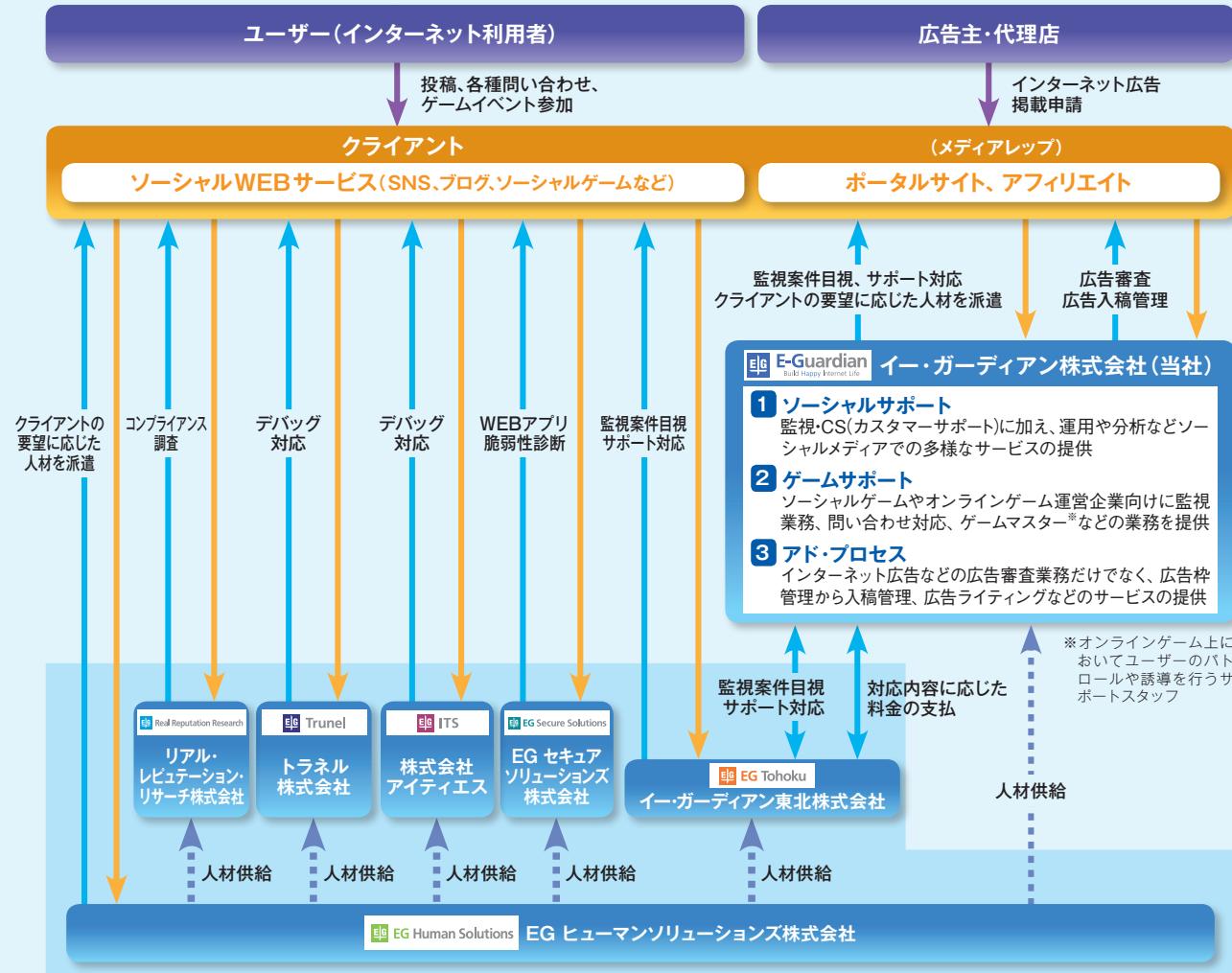
成長につなげる

「迅速な経営判断」

株主・投資家の皆様へ

**E-G通信** 第20期 第2四半期  
2016年10月1日～2017年3月31日

すべてのインターネット利用者に安心・安全をベースに「楽しい」を提供します。



「イー・ガーディアン東北」[EGセキュアソリューションズ]は平成29年5月12日付で「イー・オーベ」[HASHコンサルティング]「リンクスタイル」よりそれぞれ商号変更いたしました。

800社を超える運用実績	・UUUM 株式会社	・株式会社 gumi	・グリーアドバタイジング株式会社
	・株式会社シーエー・モバイル	・ソフトバンク株式会社	・株式会社ネットマーケティング
	・株式会社バンダイナムコエンターテインメント	・楽天株式会社	・株式会社リクルートライフスタイル <b>その他多数</b>

■ 連結子会社    ➡ 対応内容に応じた料金の支払

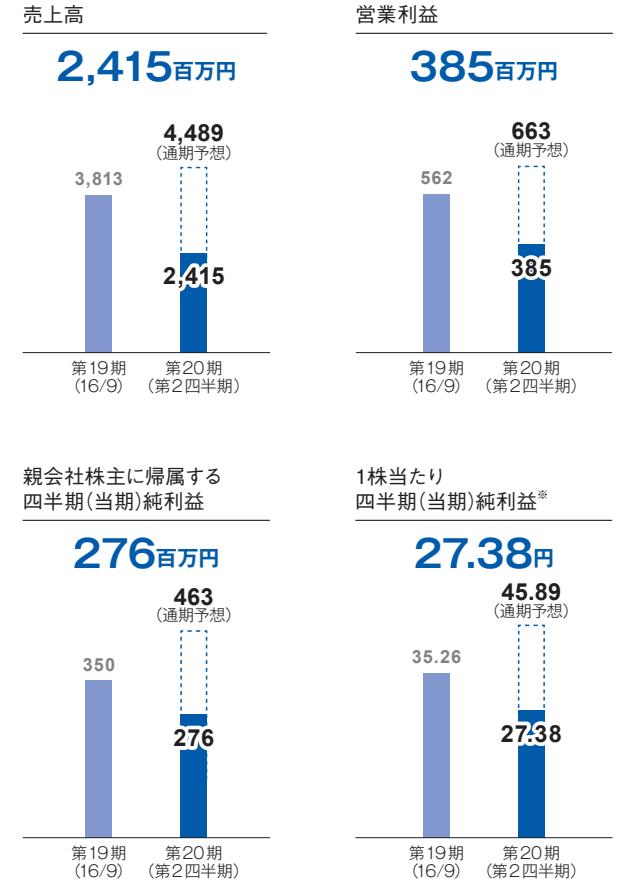
インターネット関連市場の成長とグループ規模の拡大により、引き続き増収増益を達成しました。

当社は、総合ネットセキュリティ企業を目指し、各分野でNo.1サービスの量産を目標に、事業拡大と収益性向上を追求してまいりました。引き続き、当社事業領域であるインターネット関連市場の成長が継続しており、様々なサービスが展開されていくなかで、個人情報漏洩やアプリケーションの脆弱性を狙った攻撃などのセキュリティ侵害が深刻化しており、インターネットにおける安全性を求める声は一層高まりを見せています。当社は、従来の事業をさらに強化するとともに、(株)アイティエスを完全子会社化し、ハードウェアのデバッグ分野に参入。海外では、2017年9月にイー・ガーディアン・フィリピンを100%子会社として設立予定など、さらなる飛躍を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
高谷 康久

業績ハイライト



Point 総合的な事業ポートフォリオで順調に拡大

市場の追い風を捉え、ほぼすべての事業で業績が向上しました。従来の監視業務から事業領域を広げ、総合ネットセキュリティ企業としてのポートフォリオ拡充に向けて着実に前進してまいります。

※ 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## 厳密な経営チェックによる迅速な経営判断で あらゆる事業分野において順調に業績が向上しています。

### 上期も対前年比で大幅な業績向上となりました。

2017年9月期第2四半期決算でも、グループ全体で業績を伸ばし、4月に上方修正した予想を上回る増収増益を実現できました。

これは、インターネット関連市場の拡大が続いており、その追い風をしっかりと捉えているからですが、もう1つ安定成長の大きな理由が独自の経営スタイル、すなわち創業以来一貫して行っているきめ細かな経営チェックです。売上高はもちろん、最終利益に至るまで、細かな数字も含め毎週の会議で厳しくチェックします。それにより経営上の問題を早期に発見し、迅速に対応することができます。これは京セラの稲盛会長が提唱するアメーバ経営を応用したものです。日本でも最終利益に至るまでのチェックを厳密に行っている会社は数少ないと思います。これが、スピード感のある経営判断を可能にし、市場の変化を的確に捉えることができている根拠の1つとなっています。

### LINEのパートナー化や新しい専門部隊創設の狙いと効果について。

LINE(株)の法人向けサービス「LINEカスタマーコネ

クト」の販売・運用代理パートナーに当社が採用されました。このパートナーは、2017年4月時点ではまだ10社しかありません。

企業のカスタマーサポートには、従来からの電話やダイレクトメール、e-mailなどがありますが、チャネルは絶えず変化しており、これからはLINEを活用できないと取り残される怖れがあります。そこに、当社がこれまでの強みを活かしつつ重要なポジションを占めることができたことは、今後のソーシャルサポート分野の事業展開に大きく寄与してくれるものと思います。

もう1つのトピックが、コンテンツ・ガーディアンの創設です。先日も、キュレーションメディアの記事の信頼性が問題となり注目を浴びました。そのような事態を避けるために、企業の提供するコンテンツをチェックする専門部隊がコンテンツ・ガーディアンです。すでに多くの引き合いや問い合わせをいただいております。今期の業績貢献も見込んでいます。

### 事業規模拡大に伴い、オペレーションセンターの移転・拡大を続けています。

3月21日に、西新宿の新宿フロントタワーに東京センターを移転しました。これに伴い、面積や席数は約2

倍となりました。このセンターはショールーム的な役割や、新サービス開発のイノベーションセンターとしての役割も担っており、営業活動にも役立ちます。また西新宿という立地の魅力によって、優秀な人材確保が容易になっています。

前々期と前期に熊本センター、大阪センターの移転・拡大を行ってきましたが順調に稼働率も向上しております。引き続き需要を見据えつつ、キャパシティの拡大に取り組みます。

### (株)アイティエスの完全子会社化により事業領域を拡大しました。

当社はこれまで、ゲームサポート分野で子会社トラネル(株)を設立し、ソフトウェアのデバッグ業務を順調に拡大してきました。(株)アイティエスは、ハードウェアのデバッグを強みとし、子会社化することによってソフトとハード双方のデバッグに対応可能となりました。すべての機器がインターネットにつながるIoTの時代にあっては、腕時計、デジタル家電などのデバッグも不可欠となり、その市場はますます拡大しています。

また、インターネットにつながるモノがある限り、セキュリティとデバッグが不可欠となるわけですから、ハードウェアのデバッグの(株)アイティエス、ソフトウェアのデバッグのトラネル(株)、サイバーセキュリティのEGセキュアソリューションズ(株)(HASHコンサルティング(株)から商号変更)などを子会社として擁することで、総合ネットセキュリティ企業として

の陣容は大きく強化されました。

### 海外展開を含め、事業ポートフォリオの拡大を進めます。

この9月に海外子会社イー・ガーディアン・フィリピンを設立します。当社は昨年来、フィリピンに設立されたベネッセグループの(株)TMJに当社のスタッフを出向させ、多言語運用センターにおけるカスタマーサポートを提供していますが、これが順調に推移しているため、TMJ社との提携関係を維持しつつ独立した子会社の設立に踏み切るものです。

これにより、英語圏を対象としたカスタマーサポートの拡大が可能となります。また、日本で受注した画像チェックなども、人件費の低いフィリピン子会社で行うことにより、利益率を向上させることができます。

このような施策によって、総合ネットセキュリティ企業としての事業ポートフォリオをさらに充実させ、日本での圧倒的な地歩を固めつつ、アジアにおいても存在感を高めていきたいと思っていますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
高谷 康久



## 1 電子デバイス向けデバッグ事業を中心に展開する「(株)アイティエス」の全発行済株式を取得

平成29年1月1日に(株)アイティエスの全発行済株式を取得し、完全子会社といたしました。当社グループにおいては、トラネル(株)がスマートフォンアプリ、ゲームを中心としたデバッグ事業を行っておりますが、世の中に存在する様々なものがインターネットとつながるIoT(Internet of Things)時代の到来を踏まえ、同社が保有する電子デバイスに対するデバッグのノウハウや顧客層を取り込むことで、デバッグ事業をさらに強化してまいります。

これにより当社グループの事業拡大を図り、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

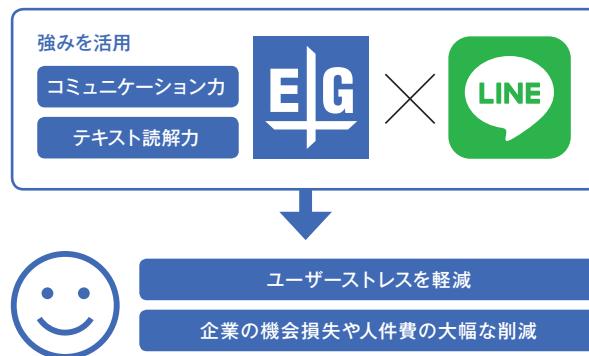


## 2 LINEを活用した法人向けカスタマーサポートサービス「LINEカスタマーコネクト」販売・運用代理パートナーとして正式販売開始

LINE(株)(東京都新宿区)が展開する、コミュニケーションアプリLINEを活用した法人向けカスタマーサポートサービス「LINEカスタマーコネクト」の販売・運用代理パートナーとして、チャットボットを活用したカスタマーサポートサービスの提供を開始いたしました。LINEを活用したカスタマーサポートは、メールなどのチャネルよりもリアルタイム性が求められることから、当社がカスタマーサポートで培った『コミュニケーション力』や、ネット投稿監視で培った『テキスト読解力』という強みを最大限活かすことができると考えております。

本サービスの提供により、リアルタイムでのコミュニケーションを実現することで、ユーザーストレスを軽減す

るとともに、カスタマーサポートを提供する企業の機会損失や人件費の大幅な削減に寄与してまいります。



## 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998(平成10)年5月
資本金	35,893万円
従業員数	連結966名(うち契約社員数759名)
本社	〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F TEL:03-5575-2561 FAX:03-5575-0621

センター所在地	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京センター 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー 28F TEL:03-6770-2192 FAX:03-6770-2193</li> <li>■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町2-10-1 ふどうやビル 10F TEL:042-847-3300 FAX:042-847-3301</li> <li>■ 大阪センター 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル 7F TEL:06-6346-6080 FAX:06-6346-6180</li> <li>■ 宮崎センター 〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL:0985-42-7900 FAX:0985-42-7901</li> <li>■ 熊本センター 〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井2-2-35 熊電プラザビル1F TEL:096-341-2525 FAX:096-341-2526</li> </ul>
---------	--

関連会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イー・ガーディアン東北株式会社*</li> <li>■ EGセキュアソリューションズ株式会社*</li> <li>■ トラネル株式会社</li> <li>■ EGヒューマンソリューションズ株式会社*</li> <li>■ リアル・レピュテーション・リサーチ株式会社</li> <li>■ 株式会社アイティエス</li> </ul> <p>*2017年5月12日付で「イーオペ(株)」「HASHコンサルティング(株)」「リンクスタイル(株)」より商号変更いたしました。</p>
------	--

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング</li> <li>■ リアルタイム投稿監視業務</li> <li>■ ユーザーサポート業務</li> <li>■ オンラインゲームカスタマーサポート業務</li> <li>■ コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務</li> <li>■ コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務</li> <li>■ 人材派遣業務</li> <li>■ デバッグ業務</li> <li>■ サイバーセキュリティ関連業務</li> </ul>
------	--

## 株式情報 (2017年3月31日現在)

### 株式の状況

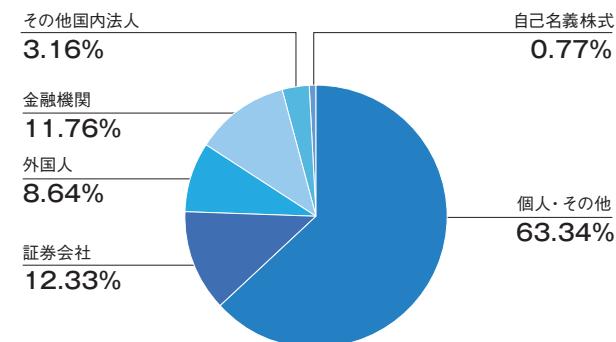
発行可能株式総数	32,400,000株
発行済株式の総数[うち自己株式248,062株*]	10,359,000株
株主数	6,429名

※期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高谷 康久	1,036,700	10.01
五味 大輔	440,000	4.25
日本証券金融株式会社	312,300	3.01
株式会社SBI証券	272,000	2.63
楽天証券株式会社	267,700	2.58
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジーエイビーアールデイ アイエスジー エフイーイーエイシー	208,000	2.01
三井住友信託銀行株式会社(信託E口)	168,580	1.63
溝辺 裕	147,700	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	130,900	1.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	123,800	1.20

### 所有者別株式数の分布状況



## コラム Column

## コミュニケーションの新時代「チャットボット」

「チャットボット」とは「チャット（インターネット上での会話）」と「ロボット」を組み合わせた自動会話プログラムである。ユーザーはチャットボットを相手に、まるで本物の人間と会話をする感覚で情報のやり取りができる。例えば、ホテルの予約やネットショッピングなど応用範囲は多岐に渡る。当社も2017年4月よりLINE（株）が展開するコミュニケーションアプリLINEを活用した法人向けカスタマーサポートサービス「LINE カスタマーコネク」の販売・運用代理パートナーとして、チャットボットを活用したカスタマーサポートサービスの提供を開始。当社の強みであるコミュニケーション力やテキスト読解力を活かし、ユーザーストレスの軽減と、カスタマーサポートを提供する企業の機会損失や人件費の大幅な削減に寄与していく。



### ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧いただけます。

#### トップページ

<http://www.e-guardian.co.jp/>



#### 株主・投資家情報

<http://www.e-guardian.co.jp/ir/>



### 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>



イー・ガーディアン株式会社

<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045

東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F

TEL:03-6685-2564 FAX:03-5575-0621